

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

埼玉県代表選手として第8区の中学生区間を力走！



第41回全国都道府県対抗女子  
駅伝競走大会埼玉県代表選手

笹井陽南さん  
『楽しく』走ることが  
結果につながる

「走り始めると沿道からの声援がすごく、初めての舞台を楽しく走ることができました。」と話すのは、1月に行われた『第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会』で、埼玉県代表として第8区の中学生区間を走った幡羅中学校3年生の笹井陽南さんです。

小学校に入学して行われた持久走大会がきっかけで陸上をはじめた笹井さん。2位という好成績でしたが、兄・姉と共に1位でその悔しさからクラブチームに入りました。しかし、小学生の頃はなかなか思うような結果が出ず、走ることが楽しいと思えるようになったのは、意識を変え結果が出始めた中学生になってからでした。厳しい練習メニューをこなすだけでなく、本番を想定し



▲第41回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会で第8区を走る笹井さん

て臨むことを意識し、大会では『楽しく』走ることが、自身の成長や結果につながっているといいます。

笹井さんに今後の目標について聞いてみると、「全国都道府県対抗女子駅伝では楽しく走れた半面、後続の選手に追い抜かれてしまって順位を上げることができず、悔しい気持ちが残りました。この気持ちを忘れず、高校では全国高校駅伝やインターハイという舞台で入賞を目指したいです。」と意気込みを語ってくれました。

陸上を通して『何事にもチャレンジすること』の大切さを学んだという笹井さん。今後もチャレンジ精神を胸に、夢に向かって走り続ける笹井さんの活躍に期待です。

## 男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや  
 〇人権政策課 ☎574 - 6643

### ワーク・ライフ・バランスについて考えてみませんか？

みなさんは、ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っていますか。  
 ワーク・ライフ・バランスとは、『仕事と生活の調和』ということですが、現在の働き方を見直し、生産性を向上させることで、健康で豊かな生活のための時間を確保し、私生活が充実することで業務効率も上がるといった相乗効果・好循環を生むことを趣旨としています。



現在では、共働きの世帯も一般的となっていますが、その一方で、『男は仕事、女は家庭』といった性別による役割分担が一般的だった頃の意識や、それを前提としたものが多く残っていることから、仕事と生活が両立しにくい状況にあります。このような状況を解消するためには、社会全体として取り組んでいく必要があります。

もちろん、事業主と働く人が協調して生産性の向上に努めるとともに、職場の意識や風土を変えていく取り組みも必要ですが、それだけでなく、皆さんが社会の一員として、家庭や地域の中で積極的に役割を果たしたり、消費者の一人として、求めようとするサービスの背後にある働き方に配慮したりすることも大切ではないでしょうか。

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

〇ふかや緑の王国



◀正門から入って続く道が『ハナミズキ通り』だよ。道に沿って赤と白のハナミズキが植えられていて、4月中旬～下旬が見頃なんだってえ～。



◀ツバキも咲いていたよ。きれいだね～。早咲きのは12月から咲き始めるんだって。

最近少しずつ春の陽気に近づいてきたね～。今日は一足早くこれから見頃になるお花を見に、ふかや緑の王国に来てみたよ。どんなお花があるのか楽しみだなあ。さっそく行ってみよう！



◀王国ボランティアの皆さんが活動していたよ。ふかや緑の王国は多くのボランティアのかたに支えられているんだねえ。

◀梅園には梅が咲いていたよ。ふかや緑の王国は梅だけでも100種類以上あるんだって！すごいよねえ。色や形、咲く時期などが違うからいろんな梅を楽しめるね～。

ふっかちゃんの  
つぶやき

春は出会いと別れの季節、寂しいけどこれからの出会いを楽しみに、前に進もうねえ Y(o≧ω≦o)Y 卒業するみんなおめでとう！



## 心の広場

豊里中学校1年  
剣持 菜羽さん



みんなが暮らしやすい世の中に

みなさんは車椅子マークが書かれている駐車場を利用したことはありますか。今、各地で、身障者用駐車場の健全者による不正利用の問題が起きています。なぜ私がこのことを知ったのかというと、次のような出来事があったからです。

私は先日、祖母が公民館に用事があったため一緒に付添いました。祖母は足が不自由なので、普通の人よりも歩幅が小さく、歩くのに時間がかかります。また、車を降りるときも、一般車用の駐車場は隣の車との間隔が狭いため、乗り降りしづらいので、身障者用の駐車場にいつも車を停めています。その日も駐車場へ行くと、3つある全てに車が停まっていた。仕方なく、入り口から離れた一般車用の駐車場に車を停めました。建物に着くまでとても時間がかかり、大変そうでした。

用事を終え、駐車場へ向かうと、祖母の前を歩いてた健全者と思われる方が、身障者用の駐車場に停めて

ある車に乗って帰っていききました。その姿を見て祖母は口にしなかったけれど、きっと残念な気持ちになっていたと思いました。

家に帰ってから、他にも祖母のような思いをしている方はいないのかと思い、調べてみることにしました。調べていると、障害のある方のために用意された駐車スペースに健全者が駐車するなど、本当に必要としている方が利用できない問題があることが分かりました。さらに調べていくと、パーキング・パーミットという言葉があることを知りました。障害のある方、高齢者の方、妊産婦の方など、身障者用の駐車場を本当に必要とする方が利用できるようにすることを目的とした制度のことだそうです。

さまざまな対策をとっている地域があることを知りましたが、私はパーキング・パーミットなどの制度がなくても、一人一人が身障者の方のことを考えて、基本的なルールを守るなどの思いやりを持つと、良い気持ちで身障者の方も利用できると思いました。少しの思いやりがあるだけでちがってくると思います。

私はこのような出来事を通して、新たな発見ができました。それは、「自分よりも相手を思いやる気持ちが大切だ」ということです。自分のことを優先するよりも、相手を思いやり、ゆずり合うことが大切です。みんなで助け合い、支え合える社会になり、みんなが暮らしやすい世の中になりますように。